

# 武蔵村山市の見どころ紹介(東エリア)

## ◆野山北公園

武蔵村山市が管理する部分と東京都が管理する部分とに分かれています。公園エリアとしては都立野山北・六道山公園の範囲に含まれています。園内には、プールや釣り池のほか、フィールドアスレチックが体験できる冒険の森・あそびの森があります。

また、春に咲くかたくりの花の群生地には大勢の人が訪れています。



## ◆村山温泉「かたくりの湯」

村山温泉「かたくりの湯」は、武蔵村山市の観光資源として平成14年4月にオープンした天然温泉です。

狭山丘陵南麓の地下約1500mから汲み上げた温泉とスパゾーンを備えた施設は、武蔵村山市を代表するスポットとして市内内外の多くの方に親しまれています。



## ◆村山大島紬・村山織物協同組合事務所

村山大島紬は、大正時代頃から狭山丘陵周辺地域で盛んに作られるようになった絹織物で、東京都の無形文化財に指定されています。

村山織物協同組合事務所は、昭和3(1928)年に建てられた洋風木造2階建て、市の有形文化財に指定されています。建物内には村山大島紬に関する資料館があり、見学することができます。

開館時間/9:30~16:00  
休館日/土・日・祝日、年末年始  
電話/042(560)0031



## ◆武蔵村山市立歴史民俗資料館

館内の常設展示では、武蔵村山の自然、歴史、民俗について詳しく詳細しています。

丘陵(ヤマ)と台地(ハラ)で営まれてきた人々の歴史や民俗などについて詳しく知ることができます。狭山丘陵で見つかった化石の標本や軽便鉄道のコーナーも必見です。

開館時間/9:00~17:00  
休館日/毎月第1月曜日、毎月第3水曜日、年末年始  
電話/042(560)6620



## ◆長円寺

龍沢山長円寺と号する永禄11(1568)年に華山秀呑和尚によって開山された曹洞宗の寺です。

本尊は釈迦如来で、境内には江戸時代に三ツ木村を領していた旗本大河内氏の墓があり、市指定の旧跡です。毎年4月29日には、長円寺から横田・中村・馬場地区を巡る横中馬獅子舞(市指定無形民俗文化財)が行われます。



## ◆吉祥院・吉祥山遺跡

横龍山吉祥院は、長円寺の末寺として、江戸時代初期に長円寺三世の竹岡同行によって開山されたと伝えられています。本尊は聖観音で、狭山三十三観音の22番札所となっています。

境内の裏山には吉祥山遺跡があり、旧石器時代から平安時代にかけての集落跡からは、土器など多くの遺物が出土しています。



## ◆武蔵村山市について

狭山丘陵には小さな峰が多いことから「群山」と呼ばれ、それが「村山」の地名に転訛したといわれています。中世の時代に狭山丘陵周辺地域を根拠としていた武士団も村山党を名乗り、これが市名の由来となっています。

江戸時代には中藤・横田・三ツ木・岸の4ヶ村が存在し、明治から大正にかけて村山村、昭和29(1954)年に村山町、昭和45(1970)年に武蔵村山市となりました。

平成29年11月現在の人口は約72,000人で、狭山丘陵の自然に恵まれた緑豊かな都心のベッドタウンとなっています。



武蔵村山市役所

## ◆みかん狩り

武蔵村山市にはみかん栽培に適した狭山丘陵南側の斜面が広がっており、昭和30年代の始めから宮川早生という品種のみかん栽培が始まり、半世紀以上の歴史があります。市内のみかん園では、毎年11月上旬から下旬にかけて都内近郊から多くの家族連れなどがみかん狩りに訪れ、市場に出回らない幻のブランド「東京狭山みかん」の味を楽しんでいます。



## ◆軽便鉄道線路跡・トンネル群

大正時代から昭和初期にかけて、狭山丘陵内に村山貯水池(多摩湖)・山口貯水池(狭山湖)を建設するために敷設された軽便鉄道(羽村・山口線)の線路跡とトンネル群(横田・赤堀・御岳・赤坂)が残っており、現在は野山北公園自転車道として整備されています。春には、自転車道を彩る桜並木が見事です。



## ◆狭山丘陵の化石

武蔵村山市がある狭山丘陵の周辺地域は、今からおよそ200万年前は遠浅の海が広がっていたと考えられており、その証拠として狭山丘陵に面した谷戸の斜面では、貝類やエビの仲間などの生物の化石が数多く発見されています。

武蔵村山を訪れて、地球の誕生から現在まで続く悠久の歴史の息吹を感じてみてください。

写真提供:むさしの化石館



## ◆村山かとうどん

武蔵村山の地域と「うどん」との関わりは古く、江戸時代末期に中藤村の陰陽師であった指田撰津が書き遺した「指田日記」の中にも度々うどんを食していたことが記されています。

平成18(2006)年、市内の有志が「村山うどんの会」を結成し、「村山うどん」を発信して武蔵村山の魅力を市民の手で創造するために活動しています。

村山うどんの会ホームページhttp://www.m-udon.com



## ◆日吉神社・重松囃子

創建された年代は不明ですが、御神体は元禄4(1691)年に三ヶ島(所沢市)の照明院から遷宮されたと伝わっており、江戸時代には山王権現、山王社などとよばれ信仰をあつめていました。

毎年8月の第1日曜日には、市指定無形民俗文化財の「重松囃子(じゅうまつばやし)」が奉納されます。



## ◆ダイダラボッチの井戸

武蔵村山にはダイダラボッチという巨人伝説が伝えられており、市内にはデエダラボッチが歩いた足跡とされる井戸が残っています。

武蔵村山を代表するイベントとして毎年10月下旬に開催している「村山デエダまつり」は、この伝説の巨人にちなんだ大きなデエダの山車が登場し、会場を盛り上げています。



## ◆萩ノ尾薬師堂の宝篋印塔

市内中央三丁目にある萩ノ尾薬師堂の境内には、延文元(1356)年の銘文などが見える宝篋印塔(笠と基礎のみ)があります。

武蔵村山市における数少ない中世の歴史資料であり、有形文化財に指定されています。



## ◆指田日記

市内中央三丁目の指田院の敷地には、古い時代の屋敷門が残っています。この指田家で江戸時代末期の当主であった指田撰津正康詮(さしだせつのかみふじあきら)は陰陽師としても活動していました。

天保5(1834)年から亡くなる明治4年(1871)年までの38年間を書き綴った「指田日記」には、陰陽道としての活動だけでなく、村内で起きた様々な事件や年中行事、冠婚葬祭、天気などについて書かれており、当時の武蔵村山の様子や生活文化について知ることができます。この「指田日記」は市の有形文化財に指定されています。



## ◆番太池

江戸時代の村絵図には「御寮の溜井」「御寮道溜井」と記されており、かつては周辺の水田のための灌漑用水地として使われていました。



## ◆眞福寺

龍華山清浄光院眞福寺は、和銅3(710)年に行基によって創建されたと伝わる真言宗豊山派の古刹です。観音堂には百体観音が安置され、狭山三十三観音の20番札所となっています。

現在の本堂は安永7(1778)年の建立とされ、天保10(1839)年頃に石川文松によって描かれた格天井花鳥画は市の有形文化財に指定されています。また、山門に収められている寛永15(1638)年の鐘銘のある梵鐘も同じく市の有形文化財に指定されています。

